

農業普及だより

No. 389

令和8年9月発行

知多農林水産事務所農業改良普及課

半田市出口町1-36 (0569) 21-8111



愛知県育成のブドウ品種 知多地域でも現地試験を実施中

愛知県農業総合試験場は新品種の赤系ブドウ「アメジストアイ」と「ルビーアイ」を開発しました。知多管内においても令和5年度から大府市、東浦町の各1か所で現地栽培試験を実施しており、栽培特性や果実品質などを調査しています。

赤系の早生品種である「ベニバラード」に「シャインマスカット」を交配したものから選抜された2品種で、いずれも夏季の高温下でも着色良好であり、皮ごと食べられます。また、露地栽培でも7月下旬から8月上旬に収穫できるため、需要期である盆前出荷が期待されます。

「アメジストアイ」は摘粒労力がかからない省力品種で、濃厚でコクがある強い甘みの特徴です。「ルビーアイ」は玉張りが良く、マスカット香を有し、鮮明な甘みの特徴です。今後も現地試験を継続し、知多地域におけ

る栽培上の留意点を確認するとともに、生産者への情報提供を進めていきます。



現地試験ほ場の
「アメジストアイ」



現地試験ほ場の
「ルビーアイ」

令和8年度 新規就農者激励会を開催！

知多新規就農支援協議会（知多農林水産事務所、管内10市町、あいち知多農業協同組合で組織）は、7月22日にJ Aあいち知多総合本部ビルで「新規就農者激励会」を開催しました。激励会には、令和7年度に就農した新規就農者のうち12名が出席し、新規就農者が抱負を述べた後、知多農林水産事務所長からは就農激励状が、J Aあいち知多代表理事組合長からは激励品がそれぞれ贈られました。また、来賓の農業経営士協会知多支部副支部長及びJ Aあいち知多青年部長からは激励の言葉をいただきました。

その後、農業改良普及課とJ Aから熱中症対策や新規就農者へ収入保険や農業者年金等の制度、統一ブランド「知多どれ」の紹介を行いました。

次いで、新規就農者と関係機関の担当職員が地域ごとに分かれて情報交換を行いました。質問や相談、助言などで盛り上がり、終了時

間になっても話は尽きないほどでした。新規就農者の今後の活躍が期待されます。



就農激励状
（所長）



激励品贈呈
（組合長）

農作業中の熱中症にご注意ください！

近年、農作業中に熱中症になる方が増加しています。熱中症の症状は手足のしびれやめまい、立ちくらみ、筋肉痛などから始まり、進行すると吐き気や頭痛、全身の倦怠感を感じるようになります。また、重症になると意識障害、けいれん、歩行困難を起こし、後遺症が残ったり、死亡に至る場合もあります。

9月もまだ気温が高く、熱中症になりやすい環境が続きます。予防のため、右図のような対策をしてください。作業中に熱中症が疑われる人が出た場合は、速やかに涼しい場所へ移動させ体を冷やす、水分補給をするなどの応急処置をし、自分で水が飲めない、意識がないなど重症の場合はすぐに救急車を呼びましょう。

★ 予防のポイント ★

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう！

熱中症予防のポイント

愛知県立農業大学校 令和9年度学生募集

愛知県立農業大学校は、農業後継者や農業の担い手を育成する2年間の専修学校です。昭和9年設立から92年の歴史があり、9,400名を超える卒業生を輩出しています。

本校では、全寮制のもとで専攻実習を主体とした実践教育を行っており、充実したカリキュラムと広大な施設（農業用施設面積は全国一）の中、新たに建設されたICT温室などを活用して、時代に見合った農業を学ぶことができます。年齢制限はありませんので、Uターン就農を考えている後継者の方の入学も歓迎します。

農学科：定員100名

修業年限：2年

専攻：鉢物・緑花木、切花、作物、果樹、露地野菜、施設野菜、酪農、養豚・養鶏

□詳しい情報は農大HPから入手できます。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>
問い合わせ先

愛知県立農業大学校教育部学務科

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

☎0564-51-1602



QRコード

